



SSKS 療育ねっとわーく川崎

2019年5月20日発行
No.220 (2800部)
NPO法人
療育ねっとわーく川崎
発行者 江川 文誠
編集者 谷 みどり



Q 家の息子は、自閉で重度知的です。外ではよいのですが、家の中では自傷行為があり壁に穴が空いたり、トイレの床を壊されたりで困っています。援助があるか、役所に相談しましたが、うまく伝わりませんでした。どのようにしたら、子どもの特性も理解してくれて、予算も援助してもらえるのでしょうか。

やさしい住まい推進事業

A 役所に相談して、伝わらないというので、知的障害や発達障害などの方の特性は、理解されにくいようです(身体障害も例外ではありません)。かと言ってそれで良いわけではないので、区役所でうまく伝わらない場合は、各相談機関または相談支援専門員へ相談するか、更生相談所・各区の更生相談所の分室(障害者更生相談所南部地域支援室、井田障害者センター及び百合丘障害者センター)へ直接お問い合わせをしてみてください。制度としては「やさしい住まい推進事業」という制度で、利用条件に当て

はまれば援助を受けられます。また住宅の改造等とは異なりますが、日常生活用具給付等事業という制度で、例として「バギーや頭部保護帽」などの(要件はありますが、他にもいくつか対象になるものがあります。)支給も受けられます。詳しくは「ふれあいー障害福祉を案内」という冊子を見るか、市のホームページに掲載されていますが、こちらも窓口は区役所ですので、同様に各相談機関または相談支援専門員へ相談をしてみてください。

参考までに、横浜市総合リハビリテーションセンターでは、「子どもといっしょに育てる住まい 知的・発達障害編」という住宅改修事例をもとにした住まいの考え方を、わかりやすくまとめたパンフレットを作成し、ホームページからもダウンロードできるような取り組みをしています。(佐藤)

URL: http://www.yokohama-r.jp/common/pdf/trivia_home-c.pdf

今月号の目次

- 1 こんなときどうするの.....1
- 2 障害者差別解消法(当事者家族から).....2
- 3 川崎市在宅重度障害者(児)やさしい住まい推進事業.....3
- 4 療育ねっとわーく川崎会員募集.....5
- 5 療育ねっとわーく川崎会員募集.....5
- 6 デイズニールランドに行きました.....7
- 7 僕にも言わせろ.....8

(本誌5・6・7・8面は会員のみに郵送)

「人工呼吸器をつけて地域で生きている人への支援を考える」

2019年 6月23日(日) 10:30~16:00
横浜うポール大会議室
医療的ケア・保育あります
(要予約)

- 10:30- 映画「風よ吹け、未来はここに!」上映
バクバクの会~人工呼吸器とともに生きる
- 13:00- NPO生活介護での受け入れと限界
サポートセンター Rond 宇野こずえさん
- 人工呼吸器療法導入から在宅生活への架け橋
ソレイユ川崎 看護師 和田詩子さん
- 地域で育ち、地域に通う
横浜市多機能型拠点「郷」看護師 箱石文恵さん
東俣野特別支援学校保護者 金野晴子さん
- 特別支援学校への進学と受けられる支援
相模原中央支援学校保護者 上田康雄さん
相模原中央支援学校副校長 菅原 肇さん

会員500円/非会員1000円

絵:中畝治子

会員の方は16:00から総会を開催します。欠席される方は委任状をお出しいただき。

主催 医療的ケアおーぶんねっとわーく*神奈川
共催 横浜重心グループ連絡会~ばざばネット~
協賛 NPO法人フュージョンコム・かながわ県肢体不自由児協会

会員・賛助会員募集

(連絡先) 〒214-0014 川崎市多摩区登戸2981 サポートセンター Rond
Tel 044-930-0160 Fax 044-930-0128 e-mail: tani@rond.jp http://rond2981.jimdo.com/
(会費振込先) 郵便振込 00280-2-26842 特定非営利活動法人療育ねっとわーく川崎
■会費・賛助会費の別をお書きください。振込用紙が必要な方はお知らせ下さい。年会費 2500円 賛助会費 一口 2000円

発行所 郵便番号一五七〇〇七三 世田谷区砧六二一六二二一
特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 定価一〇〇円



川崎市在宅重度障害者(児) やさしい住まい推進事業

のり せいどじょうぼう
紀さんの制度情報

やさしい住まい推進事業については、在宅の重度障害者(児)が現に居住している市内の既存住宅を、その障害の状況に適するよう住宅の改良工事を行って、重度障害者(児)の生活環境の改善を図る場合に、その工事に要する費用を給付します。また、在宅生活で必要な動作に制限を受けている障害者(児)に自立促進用具を交付することによって、障害者(児)の自立の促進や介助者の負担軽減を図ります。なお、本事業については、工事の着工や用具の設置前にお住まいの区役所又は地区健康福祉ステーションの高齢・障害課障害者支援係まで事前に御相談ください。

住宅設備改良

市内の既存住宅を障害の状態に応じて改良(浴室、便所、玄関、台所など)するために必要な費用が給付されます。

●利用できる方 (ア. 身体障害者手帳を持っている方で、障害の程度が1級又は2級の方。イ. 知能指数が35以下の方 ウ. 身体障害者手帳を持っている方で、障害の程度が3級かつ知能指数が50以下の方)

●給付上限額 100万円

自立促進用具

在宅生活で必要な動作に制限を受けている方の自立促進や介護者の負担軽減のために自立促進用具を交付します。導入した用具は修理も制度で可能ですが、年数や周期(5年)によって金額や回数等が異なります。修理の際は関係機関にご確認をしてください。

費用負担について(住宅設備改良・自立促進用具 共通)

世帯の状況(最多課税者の市民税額による)に応じて自己負担が発生します。

申請をすると、関係機関が環境等を調査、評価に来ます。この時更生相談所等の専門機関と建築士が立ち会い、※用具の製作又は販売を業としている者(以下「業者」という。)の選定に当たっては、低廉な価格で良質、かつ適切な用具が確保できるよう、経営規模、地理的条件及びアフターサービスの可能性等を十分勘案のうえ決定をするものとする。(やさしい住まい推進事業実施要綱、第10条4項より)

調査及び評価の際には、納得がいくまで十分に説明を受けましょう。図面等は私たちが見てもわからないことが多いですが、わかりやすい説明をしてもらいましょう。デモが可能なものはデモを、可能であれば決定業者以外にも見てもらうことをおすすめします。

在宅生活で必要な動作に制限を受けている方の自立促進や介護者の負担軽減のために自立促進用具を交付します。

1【新規】

用具の種類	利用できる方	給付上限額	その他
①ホームエレベーター ②段差解消機 ③階段昇降機 ④リフト ⑤昇降補助機器	<ul style="list-style-type: none"> 下肢機能障害3級以上 体幹機能障害3級以上 内部障害1級にて、在宅での日常生活をする上で、必要な移動が困難な方 	100万円	障害者更生相談所、地域療育センター等の専門機関により、用具の交付が必要と認められた方
環境制御装置	四肢機能障害1級又は2級で、補助機器を使用しないと日常生活動作が極度に制限される方	70万円	

※各用具の給付上限額は、消費税及び地方消費税を含むものとします。

障害者差別解消法(当事者家族から)

「9歳になる息子は、気管切開により医療的ケアが必要です。一方で、車椅子には乗っておらず歩いたり簡単な運動もしたりする少し珍しい障害の状態で、そんな医ケア児の生活についてお話ししたいと思います。」

* *

息子は、新生児仮死で生まれました。喘息を疑い1歳で行った検査で、「気管軟化症」と判明します。後の手術の影響で、気管切開も行いました。このころ、発達面でも1歳半検診の内容の理解が難しく、興味の偏りもみられたため、同時に発達障害があることもわかりました。

* *

小学校は麻生養護学校に進みます。ところが、ここで困ったのが通学手段です。息子に必要な医療的ケ

アは、家族以外では医師や看護師しか行えません。そのため養護学校のスクールバスには乗れず親が送ることになります。自家用車を持っていないため、電車とバスを乗り継いで通いました。とはいえ、朝は忙しくてみなさん余裕がない時間です。ラッシュ時間帯の通学は大変だったため、一時期は車で送迎してもらえ

* *

「福祉有償運送」も使いました。ですが、週5日利用するとタクシー券はすぐに無くなり、川崎市で認められている「通学支援」による補助も横浜市ではなく、経済的に継続は困難でした。結局、今も電車とバスを乗り継いで通学しています。東京都は医ケア児もスクールバスに乗れるよう看護師を同乗させてもらいますが、ぜひ神奈川県でも導入してもら

えれば助かります。

* *

子どもへの付き添いは朝の通学のほか、校外学習などでも必要になります。その条件で働ける職場がまもなく、就労にも影響がありました。働きたい理由は、人手不足の障がい者支援業界に少しでも携わりたいこと、大学卒業以来働いてきたので社会参加したいことなどいくつもあります。その後、ネットで勤務時間が自由な職場を日々探し続け、作業所でのボランティアを経て、幸いにも

今も働いている川崎市内の障がい者支援事業所を見つけられました。医ケア児の保護者でも、希望者は自由に働けるようになれば嬉しいです。

ふだんの苦労は多いですが、私も働けたことや息子も学校に楽しんで通学していることなど、嬉しいことでもあります。医ケア児に対する支援が、今後川崎でも進んでいくことを願います。」

* *

増尾健太郎プロフィール

- 2010年1月 生誕
- 2012年2月 気管切開手術
- 2016年4月 麻生養護学校入学

